

Tokyo
Steel-rib
Fabricating
Association

Report

東構協

<http://www.tsfa.jp/>

2024 年 (令和 6 年)

新春号

[第 33 号]

発行 東京鉄構工業協同組合
〒104 東京都中央区八丁堀 3-9-5 KSビル6階
- 0032 TEL: 03 (5566) 1595
FAX: 03 (5566) 1597

▶ 東京駅 (左) と隅田川



インターバル

理事長 吉岡 晋吾

なってくるでしょう。

2024 年は『辰年』。十二支で竜 (龍) と言われている架空の生き物です。どうして十二支に選ばれたのかは分かりませんが、縁起の良い生き物とされているようです。辰年は大きな変化が起きることが多いとされ、実際に日露戦争、ロッキード事件、リクルート事件などのほか、東京スカイツリー開業、青函トンネル・瀬戸大橋の開通、東京五輪の開催など大きな出来事が多い年となっています。

辰年生まれの人々の性格は活動的で行動力があり、人との出会いも沢山あり、嫌なことを根に持たず、裏表がない、そして公私ともにリーダーシップをとりたがる性格だそうです。

設立から半世紀を超えた東京鉄構工業協同組合は、適正品質・適正価格を目標に各種講習会、勉強会の開催、後継経営者や管理職の教育と外国人研修

制度の斡旋や女性従業員の積極的な採用を図り、作業の標準化などの事業に取り組んでまいりました。今後も組合員、協会、関係団体、そして各都道府県の同業者と情報交換を密にしてさらなる業界の発展と鉄骨業界の知名度アップに努めていきたいと思っております。

近年、世界的な異常気象によって人の気持ちにも影響を与えるのか、災い事や紛争が多くなり、人と人の波長だけではなく人と動物、または自然界にも影響が出ているようです。

AI・ChatGPT など最新技術の進歩は著しく作業の効率化・人手不足解消につながるようになってはいますが、基本的な人と人のコミュニケーションがそれらすべてを解決する大切な要素であることに間違いはありません。まずはそこから始めたいと思っております。

日々の忙しさに対処するためには、個人が健康であることが一番であり、オン・オフの切り替えを大切にすることで適度なインターバルを持つことが最も大切なことだと考えます。今年も健康第一、安全第一で行きましょう。

(吉岡工業社長)

新年あけましておめでとうございます。昨年前半は5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、国内の景気が緩やかに回復しましたが、物価高の影響で個人消費の回復が見込まれず、マイナス傾向が続きました。依然として人手不足や原材料の高騰などで供給制約がかかるなど我々ファブ業界にとっても厳しい年となりました。

東構協は3月7日にコロナ禍もあって規模を縮小し、創立50周年式典を開催して組合員、協会など、さらなる50年後に向けて飛躍するべく一致団結の約束を交わしました。

2024年も、景気は緩やかに回復を見せるものの、働き方改革、2024年問題によってファブ業界にとってさらなる足かせになることは明白です。それを克服していく一層の努力が必要に

組合理事役員

年頭のあいさつ

「歳」



副理事長
Mグレード部会長
前田 茂昭

数年前まで自分のことは若手社長だと思っていたが、50を超えて一気に歳をとったなと感じることが多くなってきた。鏡を見れば白髪だらけ、生え際だって怪しいものでヒヤヒヤしている。見た目ぐらいは小奇麗にしたいとあれこれケアしてはいるが、シワやたるみも止まらない。中身はたいして成長していないものの、立派なおじさんの誕生である。

まあ、もちろんこれは自分に限ったことではない。同年代の仕事仲間や友人たちも似たようなものだ。誰かが『腰が痛い』といえば『おれもおれも!』と手を挙げて、『坐骨神経痛って!?!』と盛り上がり、『あの薬塗ったら生え際に産毛が!』と言えば『どこで買えるの?』『いくらぐらいするの?』と大盛り上がりである。自分が若い頃は先輩たちが病気や薬の話で盛り上がってるのを見て内心鼻で笑っていたような気がするが、似たようなものだ。つ

いに主役になってしまった…。そんな気分である。

今年コロナも一段落して色々な団体旅行会が復活したが、これがまた意外ときつかった。うちの会社は鉄骨以外に足立区で建築元請もやっているが、その協会の旅行でのこと。宿泊地はいわき湯本温泉。足立から遠いとのクレーム的な意見が多く出席者は少なめ。しかし仲の良い後輩が企画した旅行だったこともあり、参加することにした。この時点では『どうせいつものメンバーで相部屋でしょ』と思っていたが、期待したメンバーは大半が欠席。仲良くしていただいている歳も近い先輩が相部屋の予定だったが、旅行直前で体調を崩しドタキャン。これも歳のせいかな…。結局、同室は20代～30代の若者ばかりになってしまった。この若者達とも日頃から交流はあり仲良くしてもらっているのだが、相部屋で泊まりとなると話が違う。彼らが気を遣ってくれているのがありありと伝わってきてかえって肩身が狭いのである。そりゃそうだよな。下手したら彼らの親父さん達のほうが歳が近いぐらいなもの。コロナ禍の数年で時が止まっているように感じたこともあったが、歳だけはしっかり取っていました。

今年も年が明けてまた一つ歳を取る。来年にはアラ還デビューか。『若く見えますね』という言葉がお世辞でも嬉しくなってしまう今日この頃。白

髪が増えるのもシワが深くなるのも覚悟していますが、せめてなるべくめんどくさいおじさんにだけはならないようにしようと心がけて過ごします。いやもうめんどくさいおじさんになってるかもしれないな…。

(前田製作所社長)

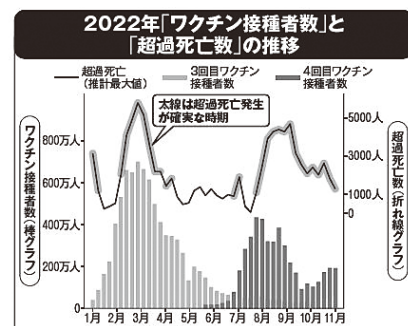
新型コロナウイルスを再検証



副理事長
関東支部運営委員
松田 一郎

3年前のリポート東構協で私は「コロナ禍」が危機の演出である懸念を書いた。コロナ対策費関連で地方自治体まで含めた公費支出で一体何十兆円支払ったのか?果たしてその効果はあったのか?検証はしっかり行われていない。

ここで今更だが2020年11月頃、盛んに広められた「ワクチンの有効性は



「日本の総数および過剰死亡数ダッシュボード」にデジタル庁「新型コロナワクチンの接種状況」より作成

第37回通常総会を開く

若者が集まる魅力ある業界に

当組合は5月24日、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で第37回通常総会を開き、今年度事業計画・収支予算など全議案を滞りなく承認した。

今年度事業計画では、①未来を担う若い経営者の意欲を高める取り組み②工場認定の性能評価のためのサポート

③フェーズドアレイUT法による溶接部の検査手法の研究推進④パス間温度の実証実験⑤働き方改革の勉強会⑥青年部活動への支援など8項目の重点事業に取り組む。

吉岡理事長はあいさつで「図面承認の遅れによるファブへのしわ寄せが課題となっているが、“24年問題”を前に全体で対応を考えるべき時期にある。週休二日体制の定着を含め、若い人が集まる魅力ある業界にしていかな

ければならない。ともに頑張っていこう」と団結を求めた。





95%」というデータ。多くの方が、この数字を「ワクチンを打てば新型コロナに罹らない」と受け取り、世論をワクチン推進に大きく舵を切らせた重要な情報の一つだったので改めて振り返りたい。

ここでの「ワクチン有効率」の定義による計算方法を簡単に説明すると下のようになる。

$$95\% = (1 - A/C) \times 100$$

(※ A = ワクチン接種して発症した数 (8人) ※ C = ワクチン接種せず発症した数 (162人))

一応は「ワクチン接種のおかげで発症を防いだ確率」と言えなくもない。しかし、この計算には、臨床試験の対象者数 (1.8万人 X2) が入っていないのだ。それでは私達が知りたかった「本当の数字」= 「ワクチンを打てば新型コロナに罹らない確率」はどのように計算すべきだったのか？

$$0.005\% = (1 - A/C) / 1.8万 \times 100$$

通常の方がこの数字をみれば「ほとんど効果はない」と言うだろう。そもそも「接種の有無に関わらず発症率は1%未満」だった。これだけでもワクチン推進の意義など当初より皆無に等しかったはずだ。

しかし、日本政府は2年で8億回分 = 2兆4千億円を海外の製薬会社と契約してしまった (※会計検査院に確保

量8億回の算定根拠が不十分と指摘を受けた)。

「重症化を予防する」や「集団免疫を形成する」と根拠の無い追加情報も盛んに喧伝されていたが、世界一の接種率と世界一の陽性率が同居してしまい説明がつかなくなった。

「コロナ禍」が始まった2020年は国内死亡者数が前年比で約9千人減少し11年ぶりの減少だった。当初コロナは死亡者を減らした。ウィルスは変異を経て弱毒化していったにも関わらず、2021年ワクチン接種開始後に超過死亡者数は不気味な上昇を続け、2022年は前年の13万人増と東日本大震災の2011年をも上回る戦後最大の異常状態となり、2023年も更に増加し続けている。超過死亡者数と接種者数の正比例に相関性を指摘する識者も増えている。

多様で不可解な副反応の増加に「コロナ禍」ではなく「ワクチン禍」の懸念も現場医師から中心に多数報告されている。

11月現在で国による新型コロナワクチン健康被害救済制度の認定数は5357件 (うち死亡例は377件)。過去45年間全てのワクチン被害認定数累計をすでに軽く超えている。

一方で新型コロナウイルスの起源については、「人工説」が一流のウイルス学者により証拠固めの段階に入っている。ストーリーは「ウィルスとワクチンがセットであった最悪の結末」の予感をさせる。

(グラフは週刊現代ウェブより引用)

(松田鋼業社長)

「SDGs」



理事
青年経営者委員会会長
教育・技術担当

池田 和隆

昨今、SDGs が世間で話題になっております。全青会でSDGsが議題にあがったのを機に、取引先の銀行さんをお願いして、遅ればせながら弊社もSDGs宣言をしました。

そもそも我々が使用している鉄は100%リサイクルが可能な素材であり、スクラップが主な原料である電炉材も、ひと昔前より流通しており、お施主さんもCO₂削減の意識があるのか、製造過程でCO₂削減が少ない柱・梁材に電炉材を採用する案件もあるそうです。地球は鉄の惑星と言われており、その鉄を材料に生業をしている我々業界は、実はすごいんだと思いますが、いかんせんアピールが足りないようで、認知度がまだまだ不足していると感じています。

話をSDGsに戻しますが、地球温暖化の原因としてCO₂が考えられており、2015年に合意されたパリ協定では、「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする」ことが長期目標として掲げられました。このことから、我々業界の特に鉄の材料を製造しているメーカーがCO₂削減対策で多くの投資金額がかかるのとこと、強気な価格設定をしており、鋼材価格が上昇しているひとつの要因にな



| 新型コロナウィルスの感染歴 | | 解析対象となった人数 | うち、発症が確認された例数 | 総追跡期間 (1,000人年) (※) | ワクチン有効率 | (参考) ワクチン有効率の計算方法 |
|---------------|---------|------------|---------------|---------------------|---------|-----------------------------|
| 無し | ワクチン接種群 | 18,198 | 8 ……A | 2,214 ……B | 95.0% | {1 - (A/B)/(C/D)} × 100 (%) |
| | プラセボ接種群 | 18,325 | 162 ……C | 2,222 ……D | | |

っております。鉄骨加工メーカーとしても、そういったことならしうがないかと思うのでありますが、お客様も含めて、CO₂削減の影響を受けていると実感しております。

弊社としても、何かできることはないかと検討していたところ、太陽光発電システムを導入することに決定いたしました。しかしここで問題が。弊社工場の屋根は前ページの写真をみてわかるようにスレートとなっており、太陽光パネルは設置できないのです。そこで、スレートの上から折版を取り付けるカバー工法を採用し、その折版の上に太陽光パネルを設置しようと考えました。次に問題になってくるのが、その屋根で太陽光パネルを設置したときの荷重が耐えられるかとの懸念です。取引のある設計事務所に屋根の構造計算をしてもらい、荷重に対して問題ないと確認がとれ、あとは施工するのみとなりました。今年の7月にカバー工法を実施し、12月に太陽光パネルを設置する予定です。

太陽光パネルは149枚敷き詰め、工場の電力の80%を賄うことができ、年間CO₂も約32.5t削減することがシミュレーションで算出されております。

微力ではありますが、CO₂削減に寄与していると実感しております。ちなみに通勤車もガソリンを使用しないK氏おすすめのT社に乗り換えました。めっちゃ早いです。

(池田鉄工社長)

不足



理事
総務・広報担当
森 芳恒

当社は工場の人手が不足しています。皆さんの会社も同様に苦勞されて

いるのをよく耳にしますし相談もされますが、この不足はかなり深刻な状況であってコロナが落ち着き様々な業界やライフスタイルがもとに戻ろうとしている世の中ですが、最近特に感じるのがいろんな不足です。

仕事面でいえば当社は駅からバスで30～40分、タクシーでも25～30分と辺鄙な場所にありますが、月に2～3回お客様がいらっしゃいますので駅まで送り迎えするのなかなか人手がなくタクシーを使う時が多々あります。コロナ以前は5～10分で配車されてきたのですが、現在は大体30分から50分待ちでひどいときは平日の昼間にもかかわらず配車不能になってしまいます。やはり極端にタクシーの台数が減っているのでしょうか。鉄骨を出荷する時も同じです。一日に4～5台手配すると、よくても大体2～3社に分かれてしまい1台2台しか手配できない時がほとんどになってきました。注文しても配送ができないとか日にちがかかることが大変多くなってきました。もちろん、私たちの業界だけ不足が発生しているわけではなく、徐々に組合の出張旅行を企画しても観光バスが全く空いていない、レンタカーも台数が足りない、インバウンド需要が回復して飛行機の便数を増やそうにも空港のセキュリティスタッフが足りずに増便できないなど今までは全く考えもしなかったような不足が世の中にたくさんあり、新たな注意が必要な状況を強く感じさせられる2023年でした。

このたくさん不足を解消するのは



本当に大変なことだと思いますが、すべての業界が不足解消を図らなければ工場の人手不足が解消しても全く改善されることはないかと痛感させられました。

どうか2024年はいろんな不足が今よりも改善される年になることを祈って頑張りたいと思っています。

(日本鉄構建設工業社長)

社内組織改革について



理事
東構塾担当
金本 貴範

OJTや社員教育など各社で行われていると思います。昔は技術や知識は上司が教えるのではなく自分の目で見て上司の技術を盗んだり、習得したりという手法だったと思います。しかし現代社会においては技術の進化やビジネス環境が急速に変化しており、新しいツールやソフトウェアや機械など継続的に発達しています。社員は最新のスキルを習得しそれをアップデートしていくことが極めて重要だとこの頃思えてきました。また、社員数が増えたことにより組織として幹部クラスから意識を変えることも必要ですし、実行性を伴わなければなりません。人は人に左右されますし、影響を受けます。

また社長が色々なお手本となるようにその姿を見せなければなりません。

組織を変えと言っても長年、会社に勤めて頂いている幹部クラスの方は30年前の入社時にも、上司から教育を受けていないので、部下に対してどのように教えて行かないといけないのか、何を伝えなければならないのかわからないし難しいという意見がありました。私も社長になった時は何をすればいいかわかりませんでした。

世の中の色々な団体で社長や経営者

に向けた講習会など5年～10年前には多くありましたが、今は幹部や役職者に向けた研修が豊富にあります。そのツールを生かして昨年は社員に多くの研修を受けてもらいました。費用と時間がかかりますが、将来のために人への投資だと思っています。多くの社員は研修内容は知っていると言いましたが、知っている気づきや新しい発見になって良かったという報告もありました。また同業他社や異業種他社とでグループディスカッションをしたことによって刺激や共感があったとの報告も受けています。

またモチベーションアップや新しい役割の発見や責任感を感じることでやる気や実行力にもつながり社員満足に繋がると思います。ミスは必ず誰にでも起こるものですが最低限に抑制しなければなりません。

私事ですが、子供への教育についてすごく考えさせられました。今この5歳の子に何を伝えないといけないのか、何を伝えなければならないのか。この教育が今後の何に役立つのか。結果ではなく過程や手法など途中段階も考えさせフィードバックするような方法でいろんなことを教育しました。

勉学は当然のこと、礼儀、作法、所

作を教えなければなりません。しかし一度しかないこの瞬間を大事にするためには家族へ掛ける時間も大切だと思っています。家族を大事に出来なければ会社も社員も大事に出来ません。またその逆も同じです。子供の小学受験で感じたことは会社の社員教育にも繋がることや新しい発見もありました。

OJT や社員教育は、現代において急速に変化するビジネス環境の中で、組織の成功と社員満足を確保するために戦略的に計画し実行することが重要だと考えます。人生日々勉強と言う言葉が最近分かってきたお年頃になりました。

(日伸鉄工建設社長)

早寝早起き



理事

東構塾担当

小室 健太

私は数年前から早寝早起きをするようになりました。早寝早起きは、睡眠の質や量を改善し、免疫力や代謝を高

め、病気を予防することができます。また、集中力や記憶力が向上し、精神的な安定や幸福感を高めることができます。

私は会社を経営していますが、会社の経営や成功も、家族や友人、仲間のおかげだと感謝しています。

早寝早起きを通じて、彼らとのコミュニケーションの時間を増やすことができ、その存在の大切さや貴重さを実感しました。彼らは私を成長させてくれる大切な存在です。同じ思いを持って共に進む仲間はとても貴重です。

私は会社の次世代を担うべき人材を育てることや、会社の将来を考えることに重点を置くようになりました。そのためには、自分自身も健康で元気であることが必要です。その一つが早寝早起きをすることで、それを習慣づけるために、以下の4つを実践しています。

まず、ベッドメイキング。

ベッドメイキングをすることで、一日の始まりに清潔感や整理整頓を意識することができ、帰宅したときにきれいなベッドが待っているというのは、とても心地よいものです。

次に、筋トレ。

筋トレをすることで、体力や筋力を

創立 50 周年記念祝賀会

金子氏ら3人に功労者表彰

当組合の前身である東京鉄構工業会の創立から50年が経過。3月7日、都内で関係者60人を集めて記念祝賀会が執り行われた。

同祝賀会では、功労者として東構協第2代理事長の金子升一氏（元那須ストラクチャー工業社長）、同第3代理事長の池田英敏氏（池田鉄工会長）、そして前事務局長の加藤哲夫氏の3人を表彰した。金子、池田両氏はかつて全国鐵構工業協会・副会長の要職を務

め、加藤氏も「不良施工の実態と対策」（いわゆる千代田レポート）の発表など、各氏とも東構協だけでなく、業界全体の発展に大きく寄与した人物として知られる。

90歳を迎えたという金子氏はマイクを前に「創立50周年を心からお祝いしたい。ただ、初代理事長の小林昭一氏（元弥生建設工業社長）、前理事長の飯田歳樹氏（元飯田製作所社長）、そして鋼構造出版の田中正幸前社長らが他界され、この記念すべき場にいらっしやらないことが本当に残念」とあいさつを述べた。また、池田氏は「材料の高騰、人材不足、過重労働など鉄

構業界に問題は山積しているが、組合の相互扶助の精神で乗り越えてほしい」、加藤氏も「東京は日本の業界の中心という役割を担っている。動きそのものが全国から注目される特別な組合でもある。今後も頑張ってもらいたい」と力強くエールを送った。



向上させることができ、自分の限界に挑戦することでもあります。

筋トレを続けることで、自信や達成感を得ることができ、仕事にも役立ち、筋トレで鍛えた体力や精神力は、仕事の困難やストレスにも耐えることができます。

次に、メモ書き。

メモ書きをすることで、頭の中を整理、アイデアや感想を記録することができ、仕事の計画や目標を立てるのにも役立ちます。

メモ書きは、自分の考えや感情を表現することでもあり、自分自身を知ることができます。

最後に、読書。

読書をすることで、知識や教養を増やし、想像力や感性を豊かにして、仕事のインスピレーションやヒントを得るのにも役立ちます。読書は、他者の視点や世界観に触れることで、自分の視野や理解を広げることができます。

これらを実践することで、人生を豊かにするだけでなく、人間関係が良好になり、人に対する感謝や思いやりの気持ちを持つことができます。私が早寝早起きを実践して言えることは、人とのつながりを深めることができるということです。

早寝早起きは、私自身にとっても周りにとっても多くのメリットをもたらすし、習慣化することで健康で、幸せで、

成功する人生を送ることができます。

早寝早起きのコツは、寝る前にスマホやテレビなどの刺激を避け、暗くて静かで快適な環境を造ることです。

皆さん、早寝早起きに挑戦してみてくださいは如何でしょうか。

(小室鉄建社長)

酒を楽しむ



理事

椎名 輝雄

新型コロナウイルス流行の影響により仕事上のお付き合いを含めて外で飲む機会が減りました。同感染症の5類移行を機に飲食店での飲み会が復活してきておりますが、以前に比べて外飲みが億劫に感じられ、家飲みが気楽でいいと思う方も少なくないようです。皆さんはいかがでしょうか。

世の中に酒を嗜む人は数多く居れど、酒量は千差万別で、浴びるほど飲むのか 350ml 缶 1 本で満足するかは人それぞれ。私が酒を少しずつ飲み始めたのは 20 歳からで、最初の頃は気持ち悪くなりやすく、ビール一杯で吐いたこともあり、今でこそ信じられない話ですが、酒を飲むことが好きではあ

りませんでした。

社会人になり、営業の先輩方に「酒と煙草をやらないと一人前になれない」と言われたものです。そんな教えに感化されたためか、20 代の頃から業界の友人と定期的に飲み会を開き、若気の至りでついつい飲み過ぎて失敗したことも一度ではありません。仲間内には酒癖の悪い人もいれば、淡々と飲む人や笑い上戸もいて、酒の席で普段寡黙な人がはっちゃけたりと他人の思いがけない面がみられることもしばしば。そんなことも酒を飲む楽しみの一つだと思います。

30～40 代にもなると客先と飲む機会が増えてきました。何故か社会人同士の飲み会では酔うと愚痴が多くなるらしく、返答に困るような他社の内部事情を聞かされるといった経験は誰しもあるのでは。仕事の付き合いでは仕様がなくて諦めて聞き役に徹しますが、限度を超えた時は「まあまあもう一杯」と言いながら酒を勧めて早々にご退場を願うのがよろしいかと（冗談です。他の方策をご存じの方はご教授ください）。

50 代に差し掛かった昨今、コロナ禍もあって家飲みが主になり、外飲みが段々少なくなっています。ただ、酒を飲む場が変わっても飲む回数は減りません。何はともあれ、頭が切れるこの私にしてどうしても切れないものが

協力会と3年ぶりに懇談会

関係強化で意見交換

当組合は1月17日、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で協力会との懇談会を開いた。同懇談会はコロナ禍のなかにあっても協力会との関係を強化、相互の意見交換を推進していく考えに基づき、実施したもので3年ぶりの開催となる。

組合側からは、協力会との間で情報

共有を図るために情報ツールの活用が提案された。キャンペーンや新製品・商品などのPRなどにメリットとの共通認識は得られたものの、代理店企業では情報提供がメーカーと重複することや技術力を主業務とする会員のPR方法、さらには価格をオープンにできない会員など実際の運用に際しては「ルール設定が必要」として継続審議となった。

このほか、協力会メンバーからの要望として、組合員との交流会の機会の

増加、営業活動への理解と協力などが提出、ファブにとっても活動の関連情報は業務に有益として、今後、こうした懇談会を継続していくことになった。



酒との縁。今日も今日とて晩酌の一杯を楽しみにしています。

(叶産業社長)

去年は「八方塞がり」の一年でした



理事代理

寺島 成美

昨年の私は「八方塞がり」でした。

仕事も家庭も手の打ちようがなく先が見えない状況…というわけではなく「陰陽道」による厄年のことです。

それによると、自分の生まれ年の星が方位盤の中央に位置することで「八方塞がり」となり、どの方向に向かって事を行っても良くない結果が予想され、どの方面にも差し障りがあって手の打ちようがない年になるとの事です。年明けから暗い話題のように思えるかもしれませんが最後までご一読下さい。

この厄年は9年に一度巡ってくとされるので簡単な確認の方法を調べてみました。その歳は、数え歳で十の位と一の位の数字を足して10になる歳、例えば19歳、28歳、37歳、46歳、

55歳、64歳、73歳などが八方塞がりの年となるそうです。

この年は「新しいことには手を出さず慎重に行動する」「自分の足元を見つめ直す」「家族や友人との時間を大切に」「趣味や好きなことに没頭する」など前向きに過ごす事が大切だと教えてくれる年です、一年の過ごし方を考える上では非常に良い年ではないかと思いました。(あくまでも個人的見解)

個人的には「趣味や好きなことに没頭する」を良い方向に解釈し、ゴルフクラブを一新しました(新しいことに手を出してしまいました、当然妻には内緒です。このレポートで白状します)

「自分の足元を見つめ直す」ということでスタンスから見直し年末の東構協コンペに挑みましたが結果は・・・足元だけに原因があった訳ではないことが分かりました。(紙面を借りてシャンクによる打ち込みをお詫びします)

「八方塞がり」は9年に一度巡ってきます。あまり気にしていない方も多いいと思います。該当する方は自分や家族、今までの仕事のやり方などを見直す良い機会だと思いますので意識してみたいかがでしょうか。

昨年を振り返ってみると仕事面では予想に反し製作量確保の面では苦労し

ました。今年の前半も同じ様な状況が続くと思われていますが、その後訪れるであろう繁忙期の営業活動を考え、見積・積算、製作工場への情報伝達方法などを新たに整えるべく思慮しておりました。

今年は「新しいこと」を取り入れ更なる効率化を進めて行ければ社員一同良い年になるのではないかと思います。

昨年は力を蓄える年でした、今年は大きくジャンプアップしたいと思います。この業界が幸福で満ち溢れる素晴らしい一年でありますように微力ではありますがお役に立てれば幸いです。

(川岸工業営業部長)

「澁澤栄一から学ぶ」



理事代理

村木 晃次

昨年は、新型コロナウイルス感染症が(2類相当)から5月8日に5類感染症へ位置付けが代り、ウィズコロナも周知しているよう徐々にではありますが我々の生活が戻り始め街中も明る

東京で固形タブ技量試験を実施 全国Mグレード部会連絡協議会

全国Mグレード部会連絡協議会(会長=堀川勝・杉山建設工業専務)は5月27日、東京都足立区の城東職業能力開発センターで固形エンドタブ溶接技能者技量検定試験を実施した。技量検定試験は、新規受験を対象とした座学と更新を含む受験対象者の実技の2部構成で行われ、新規8人、更新3人の計11人が受験した。第1部の座学では堀川会長が鋼製タブをめぐる問題

点、固形タブの取り付けやアークスタートの位置、溶接条件、外観検査の注意点を説明した。第2部の実技試験では各自が試験体に刻印打設後、組み立てを行い、本溶接に臨んだ。東京鉄構工業協同組合のメンバーも加わり、立会人として溶接を終えた試験体の割れ、アンダーカット、ピット角の溶け落ちなど溶接欠陥の有無を試験判定基準に従って厳正にチェック。その結果、外観検査はすべて合格とした。

また、6月19日、同試験の総合判定会議を開いた。外観検査を経て第三者機関による超音波探傷検査、マクロ試

験を終えた試験体を判定基準に基づいて厳正に審査。当日の総合判定会議では千葉、東京の鉄構組合Mグレード部会会長らによる最終審査で受験者11人のうち8人を合格とした。



くなりつつあります。しかしながら、コロナの影響も残り、在宅勤務やモバイルワークなども浸透し会社で働くという従来の働き方も変化し、都心では空室率の高止まりや賃料の下落、福岡や北海道ではオフィス賃料の上昇と我々の仕事も分散される形（東京一極集中から対流首都圏）へ転換してきていると感じております。

さて、私事ですが、昨年1月に工場長に任命され、成田と東京を往來する日々を過ごしております。毎月1日の朝礼挨拶をしていますが、その時のお話を一言。

2024年は新札が発行されますが、特に1万円札の表紙になる澁澤栄一についてお話をします。1840年に生まれ91歳までに日本初の銀行を設立し、約500もの企業と関わり、また、約600の教育機関・社会公共事業の支援等に尽力をした人物で2021年NHK「青天を衝け」で放映されたので記憶に新しい人は多いのではないのでしょうか。吉田松陰の精神を親友の伊藤博文から継いだともとれる、最も好きな名言で工場に掲げました夢七訓を以下にご紹介いたします。

- 夢なき者は、理想なし。
- 理想なき者は、信念なし。
- 信念なき者は、計画なし。
- 計画なき者は、実行なし。
- 実行なき者は、成果なし。
- 成果なき者は、幸福なし。
- 故に幸福を求むる者は夢なかるべか

らず。「幸せになりたい人は、夢を持ちなさい」。

ということで私も今年55歳になりますが、夢を持って年を重ねられるよう前に向かって頑張って生きたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

(アイ・テック営業部部長)

再会／歯を通して



理事
共済事業担当
谷村 朋昭

高校生の時、理系を選択すれば就職先が文系よりも高い給料がもらえるかも、国語よりも数学の方が好きかも、の理由で理系を選んだ。そこで私、谷村よりも学籍番号がひとつ前の高橋君と出会った。彼が歯医者の子息さんであることは知っていて、その後、日大の歯科学部に入学したのを卒業前に知った。私も就職先が決まってお互い別々に。某ゼネコンに入社して広島で勤務が決まり5年弱勤めた。千葉県の実家に帰って来てからは家業である鉄骨屋に入社して忙しい毎日が続いていた。ある日親知らずが見つかり、近所の歯医者に行ったら親知らずを抜くのにえらい始末。これはヤブ医者だと思い歯医者を変えた。今度は駅近くにあるマーブル歯科。そこにいた先生はど

こかで見たことのある人相でマスク越しにメガネの奥の瞳。うん？高橋君と聞いてみたところ、そう高校時代に学籍番号がひとつ前の彼、15年ぶりの再会が治療台の上だった。丁寧な虫歯さばきでそれ以降虫歯は激減した。50歳をすぎた頃、高橋君がそろそろ歯槽膿漏の感じがあるから大学病院で検査してもらってくるようにと紹介状を書いてもらい診察に行ってみた。そこで歯磨きのやり方が50年もの間そもそも間違っていたことを教わった。子供の頃からゴシゴシと強く力をいれて磨けば汚れが落ちるものだと勘違いをしていた。実は全くの逆の作業で「ペンホルド」と呼ばれるペンを持つような持ち方で優しく細かくゆっくり時間をかけて適度な角度をキープしながら歯と歯茎の間を磨いて歯間のゴミ（歯垢）を出して、かつ歯茎を刺激して歯茎を強くする。それによって歯の下の骨が弱くならない様にする。歯を抜けばいい。歯磨きで出血する場合は出血させて良い。出血はいずれ止まる。それが大事なことだと教えて頂いた。

今回は歯に関して見つめ直すという話をさせていただきました。偶然ながら再開できた高橋君に感謝するとともに数十年前の出会いがこのように私の生活に変化をもたらすこともあったのだと、温かい気持ちになることができた。どんな小さな出会いにも大きな意味が隠れているかもしれませんね。

(谷村製作所社長)

管理技術者試験準備講習会

1級 169人、2級が 114人受講

当組合は9月30、10月1の2日間、千代田区の連合会館で鉄骨製作管理技術者受験準備講習会を開催した。

同1級が169人、同2級が114人の計283人が受講した。

同講習会は10月21日に鉄骨技術者

教育センターの主催のもと、全国一斉に実施される本試験のための準備講習会。

講師は、鉄骨製作管理技術者1級が羽石良一氏（建築鉄骨構造技術支援協会専務理事）、同2級は大塚英郎氏（大林組東京本店建築事業部品質管理部上級主席技師）が担当した。午前中はテキストとOHPを使用しながら建築法規一般、鉄骨構造、品質管理、鉄骨加

工、安全管理など試験問題の概要や要点などを解説した。なお、午後からは模擬試験を実施した。



寄稿

スリーエムジャパン(株)の新製品のご案内

野村産業(株) 野村 宗孝

普段ご使用されている砥石について、大きく分けると削る・磨く・切るといった作業に使われております。鉄骨製作には欠かせない砥石ではありますが、市場には弊社でも把握できないくらいに多くの砥石が使われております。砥石メーカーは、より使いやすく、生産性に優れた製品の開発をお客様からの評価を取りながら製品開発しております。

今回、スリーエムジャパン(株)から新製品が出ましたので、組合員の皆様にご紹介いたします。

研磨材に対するニーズ及び最新のトレンドについて

①製品寿命 ②研磨速度 ③安定した仕上がり⇒今後も生産性向上は重要なテーマ

最新のトレンド

①労働力不足 ②研磨作業者の健康と安全 ③研磨加工の自動化 ④インフレーション ⑤サステナビリティ⇒より一層各企業に求められております。

スリーエムジャパンも積極的に関与

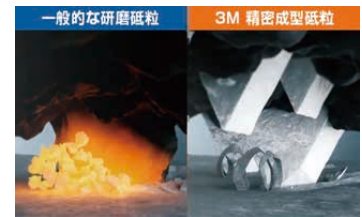
新製品 オフセット砥石・切断砥石



カタログは下記
二次元コードから



特徴：三角形形状の精密型成型砥粒
利点：高研磨力
長寿命
熱の抑制



鋭い切っ先を保ちながら高い研磨性能が持続！
常にナイフのような鋭い切っ先でワークを切削！

し、貢献できる製品やサービスをご提供できるように日々開発をしております。

総会開催は4年ぶりとなる。

開催に先立ち、全国鉄骨評価機構の高野昭市社長を講師に招いて講演会を実施。また、総会では全議案を滞りなく承認した。総会後には、仕事量や市況などを中心に情報を交換した。

**4年ぶりに対面での総会を開催
全国R・Jグレード部会連絡会**

全国R・Jグレード部会連絡会（会長＝松枝建次・松枝興業社長、会員＝1都2府7県）は3月24日、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で第20回通常総会を開催した。会場には部会会員ら約35人が参加、対面での



**東・西地区会をそれぞれ開催
業況などの情報を交換**

当組合の西地区会（地区会長＝坂爪幸男・坂爪建鉄工業社長）は10月10日、八王子市の京王プラザホテル八王子で地区会員や賛助会員ら約20人を集め、地区会を開催した（写真左）。

地区会では2トント車以上に拡大した昇降設備の義務化や今後の世界のエネルギー事情、2024年問題など幅広いテーマについてフリートーク形式で語り合った。

また、当組合は10月13日、東京都墨田区の「四季の蔵」で組合員や賛助会員ら18人を集めて東地区会を開いた（写真右）。東地区長の角鹿勝保理事（角鹿鉄工専務）が司会を担当。

吉岡理事長はあいさつのなかで業界

を取り巻く現状と組合活動のメリットと協調性を説明、団結を呼びかけた。引き続き、東構塾の青野弘毅塾長（元那須ストラクチャー工業）の乾杯の発声で、懇談会がスタートした。



理事役員会報告

◆1月理事会◆

□1月17日、アルカディア市ヶ谷□

吉岡理事長はあいさつで「仕事はあるが、やればやるほど赤字というケースも想定される。それほどに鋼材や副資材などの価格高騰の影響は大きい。稼働率を上げることよりもどう利益を確保していくかが重要。情報共有を図りながら、製作協力などでこの難局を乗り切ってほしい」と述べた。

当日は組合会報誌『リポート東構協』の発刊を報告、また鉄骨技術者教育センターが主催する「社長の右腕育成講習会」の最終的な推薦募集者を決めた。

◆2月理事会◆

□2月21日、組合会議室□

3月7日に千代田区のアルカディア市ヶ谷で開催する創立50周年記念祝賀会を中心に協議した。同祝賀会の参加人数のほか、来賓祝辞や感謝状贈呈などスケジュールなどを取り決めた。また、開催当日に配布する記念パンフレットなどを報告、司会進行など理事役員員の担当などについても話し合った。

さらに今後の理事会等の日程を審議。このうち11月は出張理事会とした。今後、開催場所など詰めていく。

◆3月理事会◆

□3月16日、組合会議室□

吉岡理事長は「このほど創立50周年記念祝賀会を皆様や協力会メンバーのご協力のもと、無事に開催することができた。深く感謝申し上げたい。今後も次世代を担う若手、東構協を盛り上げ次の100周年を目指して、頑張ってほしい」とあいさつを述べた。

当日は、Hグレードの市況報告では山積みは5ヵ月～1年半と企業間格差が生じているものの、「東北、九州、北海道など地方を含めて足元でも山積

みは高い。今後も都内の大型再開発をはじめ、リニア新幹線関連、大阪万博など大型プロジェクトの盛り上がり期待され、需要面では大きな懸念材料はない」との見方が大勢を占めた。

◆4月理事会◆

□4月20日、東京組合会議室□

理事会では、5月24日に千代田区のアルカディア市ヶ谷で開催予定の通常総会を中心に審議。2022年度事業報告・決算、2023年度事業計画・予算などを審議、合わせて当日の司会進行など運営面での役割分担を決めた。

吉岡理事長は冒頭のあいさつで「東構協は、このほど創立50周年を迎え、祝賀会を終えたばかり。この50年の間に業界内の建築鉄骨の地位は確かに向上してきたが、一般社会における浸透率はまだまだ低い。知名度があがるよう若い人を中心に次世代を切り拓いてほしい」と述べた。

◆5月理事会◆

□5月24日、アルカディア市ヶ谷□

当日は、「2023年度鉄骨製作管理技術者受験準備講習会」について審議。その結果、同2級が9月30日、同1級が10月1日の開催日程とし、場所はいずれも東京都千代田区の連合会館とした。講師は、鉄骨製作管理技術者1級が羽石良一氏（建築鉄骨構造技術支援協会専務理事）、同2級は大塚英郎氏（大林組東京本店建築事業部品質管理部上級主席技師）が担当する。定員は各160名程度を予定している。

また、来年4月開催予定の「全国鐵構工業協会 青年部会主催第33回全国大会（東京大会）助成金」への協力



についても審議、これを承認した。

◆6月理事会◆

□6月20日、組合会議室□

当日は、全構協、同関東支部のほか、各委員会、各グレード部会、青年経営者委員会、東構塾などの活動状況を報告。このうちHグレード部会報告では手持ち量や今後の需要動向などの状況報告が行われたが、課題として「人手の確保難」をあげるファブが目立った。「完全週休2日制や残業の有無など明確にして、人材募集をかけないと人が集まらない。他業種ではそれが当たり前になっているが、建設・建築業界は立ち遅れている」とする意見もあった。

◆7月理事会◆

□7月26日、組合会議室□

吉岡理事長はあいさつのなかで、「全国的に猛暑に見舞われ、とくにわれわれの工場や現場で働く従業員に対して、体調管理や安全面での配慮が必要。十分な暑さ対策を講じて、この夏を乗り切ってほしい」と述べた。

当日は、東・西の地区会は10月開催の方向で検討を進めていくことにした。一方、審議事項では11月の出張理事会を石川県で開催することに決めた。さらに、スチール加工センターの入会を承認した。また、溶接技術の取得を目的としたバーチャルトレーニングサービスの「ナップ VR システム」の組合所有について審議した。

◆9月理事会◆

□9月21日、組合会議室□

審議事項で、出張理事会を11月10～11日に行い、福井県を候補地とすることを決めた。組合広報誌の『リポート東構協第33号』の発行も決め、来年1月18日に東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で開催予定の賀詞交歓会で配布する。ナップ VR システム機器の購入等については継続審議とした。

理事会に先立って行われたMグレー

ド部会（会長＝前田茂昭・前田製作所社長）では、各社とも「稼働率は90%以上で、総じて年内は忙しいが、細かい仕事が多い」という報告だった。来年以降の見積もりは多めだという。

◆ 10月理事会◆

□ 10月19日、組合会議室□

吉岡理事長は「業界では人手不足のほか、関連する24年問題などの課題が山積しており、意見を交換して準備を進めていきたい」と述べた。

理事会では、全構協・関東支部等の活動報告のほか、東京都墨田区に本社を構えるオオタケの入会を審議、承認した。さらに神戸製鋼所のVR溶接トレーニングサービス「ナップ溶接トレーニング」の組合購入を継続審議とし、11月の出張理事会のスケジュールや研修内容などの詳細を協議した。

このほか、組合のHグレードが足元の市況を報告。年内は高い稼働率となるが、一部で「春先は薄い」との警戒感を示す声があった。また、大手ゼネ

コンの安全や品質、納期の重視傾向やなどについて話し合った。

◆ 11月理事会◆

□ 11月10日、福岡会議室（福井県）□

出張理事会を開催、胴縁など鉄骨二次部材加工を手掛ける福岡（鯖江市、福岡賢社長）の工場を見学した。

見学ではまず、福岡の沿革と胴縁製作向けCADや一次加工システムの開発、これらの活用によるCAD/CAM化などの説明を受けた後、工場を見学。「ファルコン・システム」による一次加工進捗の管理や生産量の「見える化」の取り組み、効率化や作業安全性向上の取り組みについて説明を受けた。見学後、同会議室で理事会を開催。年内



の行事予定を確認するとともに、来年1月18日に開催する賀詞交歓会について詳細を打ち合わせた。

◆ 12月理事会◆

□ 12月14日、組合会議室□

吉岡理事長はあいさつで、「山積み量に格差が生じているが、仲間同士の製作協力で全体的には平準化が図られているようだ。今後もみんなで情報を共有化し、組合という組織のメリットを享受して欲しい」と協調を呼びかけた。

当日は、全構協、同関東支部のほか、各委員会、各グレード部会、青年経営者委員会などの活動状況を報告。一方、審議事項では来年1月に千代田区のアルカディア市ヶ谷で開催する新年賀詞交歓会と溶接技術の取得を目的としたバーチャルトレーニングサービスの「ナップVRシステム」の組合所有等について協議。新年賀詞交歓会では開催案内のほか、招待者、スケジュールなどを決めた。また、「ナップVRシステム」に関しては継続審議となった。

地区会員名簿

東地区(26社) 地区会長 (株)角鹿鉄工 角鹿勝保

| No | 会社名 | グレード | No | 会社名 | グレード | No | 会社名 | グレード |
|----|--------------------|------|----|-------------|------|----|------------|------|
| 1 | 川岸工業株式会社 | H | 10 | 中央鋼材株式会社 | M | 19 | 小久保鉄工株式会社 | R |
| 2 | 叶産業株式会社 | H | 11 | 株式会社日伸鉄工建設 | M | 20 | 株式会社長谷川工業 | 未 |
| 3 | 株式会社市川スチールエンジニアリング | H | 12 | 中央ビルト工業株式会社 | M | 21 | 有限会社矢萩鉄工 | 未 |
| 4 | 株式会社谷村製作所 | H | 13 | 株式会社ヤマダ工業 | M | 22 | 株式会社奥村鉄構 | 未 |
| 5 | 株式会社アイ・テック | M | 14 | 鈴木鉄工建設株式会社 | M | 23 | 株式会社幸栄工業 | 未 |
| 6 | 株式会社前田製作所 | M | 15 | 有限会社高市工業 | R | 24 | 津覇車両工業株式会社 | 未 |
| 7 | 吉岡工業株式会社 | M | 16 | 株式会社角鹿鉄工 | R | 25 | 有限会社三鈴鉄工 | 未 |
| 8 | 株式会社中込工業所 | M | 17 | 三進建鉄有限会社 | R | 26 | 株式会社オオタケ | 未 |
| 9 | 富士工業株式会社 | M | 18 | 株式会社コイワ | R | | | |

西地区(23社) 地区会長 (有)坂爪鉄建工業 坂爪幸男

| No | 会社名 | グレード | No | 会社名 | グレード | No | 会社名 | グレード |
|----|--------------|------|----|-------------|------|----|----------------|------|
| 1 | 株式会社矢嶋 | H | 9 | 井戸鉄建株式会社 | M | 17 | 株式会社酒多鉄工所 | R |
| 2 | 東京建鉄株式会社 | H | 10 | 株式会社かしや建設工業 | M | 18 | 有限会社天野鉄工所 | R |
| 3 | 松田鋼業株式会社 | H | 11 | 株式会社三侑鉄工 | M | 19 | 有限会社山上建設工業 | R |
| 4 | 池田鉄工株式会社 | M | 12 | 有限会社坂爪建鉄工業 | M | 20 | 有限会社修和鉄工 | R |
| 5 | 日本鉄構建設工業株式会社 | M | 13 | 有限会社金谷鉄工所 | M | 21 | 有限会社石川鉄工所 | R |
| 6 | 小島工業株式会社 | M | 14 | 株式会社小室鉄建 | M | 22 | 株式会社帝都建工 | 未 |
| 7 | 株式会社鎌建工業 | M | 15 | 株式会社ヤマトミ | M | 23 | 有限会社スチール加工センター | 未 |
| 8 | 井上鉄工株式会社 | M | 16 | 島崎工業株式会社 | M | | | |

東京鉄構工業協同組合協力会員名簿

| 役職 | 会社名 | 〒 | 住所 | TEL | FAX | 代表者 | 役職 | 業種・取扱商品 |
|-----|---------------------------|----------|--|---|--------------|-------|-------------|----------------------------------|
| | | | | E-mail | | 担当者 | | |
| 会長 | 野村産業株式会社 | 206-0812 | 東京都稲城市矢野口 786-1 | 042-377-6369 | 042-377-6375 | 野村 宗孝 | 代表取締役社長 | 高圧ガス、溶接機材 産業機器、工具、ボルト |
| | | | | m.nomura@nomura-s.co.jp | | 小林 映喜 | 所長 | |
| 副会長 | 富士見興業株式会社 | 166-0003 | 東京都杉並区高円寺南 1-27-11 | 03-3314-1430 | 03-3314-5819 | 石塚 勲 | 代表取締役社長 | 高圧ガス、溶接材料 機械、工具 |
| | | | | honbu@fujimikougyo.co.jp | | 大槻 悟史 | 東京営業部部長 | |
| 幹事 | 大日本塗料株式会社 東京営業所 | 144-0052 | 東京都大田区蒲田 5-13-23 TOKYU REIT 蒲田ビル 8F | 03-5710-4501 | 03-5710-4520 | 山田 昌史 | 所長 | 全構協指定塗料 錆止め塗料 |
| | | | | nemoto-taka@star.dnt.co.jp | | 根本 隆史 | 課長代理 | |
| 幹事 | 株式会社アマダマシナリー | 260-0041 | 千葉県千葉市中央区東千葉 3-15-32 | 043-207-5235 | 043-207-5258 | 小宮 健夫 | 関東ブロック長 | ハンドソー用ブレード |
| | | | | tkomiya@amada.co.jp | | | | |
| 幹事 | 大同生命保険株式会社 東京支社 | 103-0016 | 東京都中央区日本橋小網町 17-10 日本橋小網町スクエアビル | 03-3667-8121 | 03-3667-8122 | 道村 修 | 法人会推進部長 | 生命保険 共済保険 |
| | | | | michimura.osamu.751706@daido-life.co.jp | | | | |
| 幹事 | 中村鉄興株式会社 | 359-1164 | 埼玉県所沢市三ヶ島 1-478 | 04-2948-0610 | 04-2949-2209 | 中村 弘美 | 代表取締役 | プラズマ加工、孔明加工 階段 曲げ・さら製作 |
| | | | | ntk@viola.ocn.ne.jp | | | | |
| 会計 | 東京フラッグ株式会社 八潮支店(旧有修溶工) | 340-0833 | 埼玉県八潮市西袋 2 番地 | 048-953-9895 | 048-953-9896 | 滝沢 健一 | 取締役支店長 | スタッド溶接工事 材料販売 |
| | | | | takizawa@yu-shu.co.jp | | | | |
| 監査 | ダイニッカ株式会社 東京支店 | 104-0032 | 東京都中央区八丁堀 1-9-5 | 03-3552-3163 | 03-3552-3162 | 黒須 俊一 | | 全構協指定塗料 錆止め塗料 |
| | | | | S-KUROSU@star.dainikka.co.jp | | | | |
| | 株式会社星和 | 121-0052 | 東京都足立区六木 2-6-30 | 03-3605-0817 | 03-3605-3521 | 星野 傳弘 | 代表取締役 | 鋼材、建築資材 ボルト、ナット、仮設機材 |
| | | | | seiwa@seiwa-web.net | | 小嶋 清高 | 専務取締役 | |
| | 東京電気通信株式会社 | 162-0065 | 東京都新宿区住吉 1-19 サトクラ曙橋ビル | 03-3356-9071 | 03-3356-9354 | 遠藤 裕二 | 代表取締役 | 情報通信システム NTT コミュ代理店 |
| | | | | okabe@tokyo-dt.com | | 岡部 直樹 | 部長 | |
| | 所沢資材株式会社 | 359-0032 | 埼玉県所沢市若松町 852 | 04-2992-0231 | 04-2998-0570 | 小高 進一 | 部長 | ベースバック ハイベース |
| | | | | odaka@tokoshi.jp | | 佐藤 庄悟 | 主任 | |
| | フルサト工業株式会社 神奈川営業所 | 242-0025 | 神奈川県大和市代官 3-1-2 | 046-267-5424 | 046-268-1051 | 立岩 嵩章 | 所長 | 鉄骨副資材 ボルト |
| | | | | f0994@furusato.co.jp | | | | |
| | 美鈴印刷紙工株式会社 | 135-0033 | 東京都江東区深川 2-24-11 | 03-3643-4485 | 03-3642-3265 | 飯島 康弘 | 代表取締役 | 印刷・原寸用フィルム 製造販売 |
| | | | | film-1@misuz.co.jp | | 佐藤 智輝 | 商事部部長 | |
| | 株式会社瑞穂鋼建 | 277-0054 | 千葉県柏市南増尾 1-27-14 | 04-7173-6652 | 04-7173-8485 | 塚田 武治 | 営業部 係長 | ベースバック、フリードーナツ フアブラック |
| | | | | tsukada@mizuhokohken.co.jp | | | | |
| | 株式会社山村 | 372-0022 | 群馬県伊勢崎市日乃出町 644-1 | 0270-24-7712 | 0270-24-9791 | 内山 直哉 | 常務取締役 | レーザー加工、プラズマ加工 ショット加工、開先加工、ボルト |
| | | | | youdan@maple.ocn.ne.jp | | 斎藤登志光 | 営業係長 | |
| | 旭化成建材(株) | 101-8101 | 東京都千代田区神田神保町 1丁目 105 番地 | 03-3296-3515 | 03-3296-3518 | 岡野 孝平 | 所長 | 建築材料 製造販売 |
| | | | | maekawa.mh@om.asahi-kasei.co.jp | | 前川 三貴 | 住建事業部マネージャー | |

* 東構協事務局: 東京都中央区八丁堀3-9-5 KS ビル 6 階 TEL 03-5566-1595 FAX 03-5566-1597 G-mail: tsfa.office@gmail.com E-mail: jimukyoku@tsfa.jp

編集後記

この時期、早いところでは梅の開花が話題になります。晴れの日には青空に白い花がとても映えて、情緒を感じられます。そして受粉が終わった花は、こぼれる様に散っていきます。

梅の花が散った4年前、新型コロナウイルス感染拡大から始まったコロナショック。感染防止対策による経済の停滞、人手不足の影響のみならず、物

流の混乱によって資源やエネルギー、穀物や鉱物などの原材料の高騰を招き、さらに、異常気象によるサプライチェーンの停滞、断絶や作物の不作などが食料価格を押し上げました。加えて、ロシアのウクライナ侵攻は、サプライチェーンの混乱を悪化させたうえ、一段と原材料等の価格を上昇させました。資源やエネルギーなどを海外に依存する日本は、需給のひっ迫やインフレ高騰を引き起こしています。一

方、我々の鉄構業界も材料価格、販管費の高騰分を加工費に転嫁したり、図面の決定の適正化、人手不足にも対処したりする必要があります。

鉄構業界は問題が山積みで、今年も我慢の時間が続くでしょうが、案外、問題解決の糸口や時期はすぐそばにあるのかもしれませんが。問題解決できるかどうかは、「神のみぞ知る！」ということでしょうか？

(事務局長 蓬田 正則)